

第 1 回多治見市障害者計画等策定委員会議事録

日時：令和 4 年 9 月 16 日（金）

14:00～15:30

場所：総合福祉センター

4 階 会議室・集会室

出席委員 安藤秀章委員、岩本眞知子委員、加藤高志委員、加藤泰治委員
員： 藏前芳勝委員、酒井郁美委員、柴田勇夫委員、立間裕子委員
田中健委員、樋田安美委員、中島徹委員、中村博委員
西田葉子委員、原美奈委員、山下智弘委員
(50音順)

欠席委員 浅野保敬委員、藤木誠委員
員：

事務局： 福祉課長 大山克則
福祉部課長（子育て支援担当）勝見祐子
福祉課 山田康則、島津和世、荒川純也
子ども支援課 奥村佳史

1 あいさつ

2 委員委嘱

3 自己紹介

4 委員長、副委員長の選出

5 議題

(1) 第 8 期多治見市障害者計画等策定の概要と策定スケジュールについて
(資料 1)

(2) アンケート調査について (資料 2)

(3) その他 (今後の予定について)

○福祉課長 委員長が選出されるまで司会進行をする。

(福祉部長あいさつ)

(各委員自己紹介)

(福祉課長から事務局側の出席者を紹介)

○福祉課長 続いて、委員長及び副委員長の選出をお願いしたい。手元に配布した「多治見市障害者計画等策定委員会設置要綱」第5条の規定により、委員長及び副委員長は委員のうちから選出するとなっている。推薦等はあるか。

特にないようであれば、事務局に案があるので、発表してよろしいか。

(異議を唱えるものなし)

それでは、委員長には、岐阜県身体障害者福祉協会多治見支部 安藤委員に、副委員長には、多治見市地区手をつなぐ親の会 柴田委員をお願いしたいかどうか。

(拍手をもって賛成)

○福祉課長 それでは、ここからの進行は、委員長にお願いします。

○委員長 この会議は本日が1回目である。多治見市情報公開条例に基づき、この会議は公開とする。

議事録等の取扱いについて、委員名は公表せずにホームページ上で公開する。

○委員長 議題1「第8期多治見市障害者計画等策定の概要と策定スケジュールについて」事務局から説明願う。

(事務局、資料により説明)

○委員長 事務局の説明について、何か質問や意見はあるか。

(特になし)

○委員長 次に、議題2「アンケート調査について」事務局から説明願う。

(事務局、資料により説明)

○委員長 事務局の説明について、何か質問、意見はあるか。

○委員 全体で何部の配布を行うか、またどのような範囲で配布を行うか。

○事務局 配布部数については500部程度を想定。10月中旬より行う障害者団体との意見交換会や各福祉サービス事業所の窓口を通して配布を行う。

○委員 障がい者本人の意思決定支援という言葉が重要視されている。調査を通して、障がい者本人からの要望や意見をより多くくみ取り、施設や行政の為に、障がい者本人の為に計画を策定していただきたい。

○委員 本人が答えることができないほど重度な症状を持つ子供は多い。そのような家庭はどうしても親の意見が優先されてしまうと思うが、親亡き後どのような生活環境を希望しているのかなど、本人の意思がなかなか伝えられない人の意思をどのように把握していくのか、念頭に置いて意見交換会等を行なっていただきたい。

- 委員 重度障がい者のための通所施設が市内に数か所しかない。近隣市にもそのような施設が少なく、他市からの利用者もいる。利用者がとり合いをしなくてもいいような環境にしていきたい。
- 委員 透析患者からの観点から2つ意見を申したい。1つは通院方法について、現在は病院から出ている無料通院バスを利用している者が多い。利用者が増えれば病院の負担も増える。いつまでこのようなサービスがあるかわからない中で、市として対応を検討していただきたい。
- もう一つは災害時の避難所での非常食について、透析患者はカリウムを多量に摂取すると心臓への負担が大きくなる。長期避難となり各患者が所持しているカリウムを抑える薬が不足したときの対応方法について検討願いたい。
- 委員 アンケートの設問が40問ある。一般的に把握しておきたいような内容は網羅されている。適度に説明の注釈もあり丁寧に作成してあるが、既存のサービスについて不便感はあるか把握できるような設問があってもよいのではないか。また、調査を通してサービス見込量の方針を定めていくことになると思うが、どのようなサービスや施設が不足しているのか等が結果としてわかるような調査にしてほしい。
- 委員 ただ配布するだけではなく、調査の意図を説明したうえでの配布をお願いしたい。事業所でも重度の障がいを抱えている児童だと、親からの声は上がってくるが、当人からの意見はなかなか把握できない。今回の意見を通して、そのような引きこもりがちになっている児童や、自分の意思を上手に表現できない児童の意見も把握できるようなものになればと思う。
- 委員 前回の調査の回収率（44.5%）が前々回の調査の回収率（55.4%）より下がっている。回収率が上がるように工夫をしていただきたい。
- 委員 各事業所でも利用者に対して調査を行っているので、その内容も含めて、委員会を通して市へ報告していく。調査を通して困り感を聞くが、それに対応できる施設や事業が無いという状況が極力無いように、施設数や人の数等の問題もあると思うが、より障がい者本人の意見を反映させた計画方針としていただきたい。
- 委員 民生委員が見守り訪問を行う際には、悩みを聞き、解消できるサービスにつなげるようにしているが、コロナ禍の中で認知症の方が増えており、対応に苦慮している。また、知的障がい者の方で近隣住民とのトラブルがあった方については、市福祉部や包括支援センターにつなぐようにしているが、民生委員としてはそのような対応をするしかないというのが現状である。
- 委員 調査票をわかりやすく作っているのは重々承知しているが、かなりボリュームがあるなという印象。既存のサービスのみでなく既存のサービスでないものも含めて、障がい者の抱える困り感がわかるような調査になればと思う。

- 委員 回収率の増加もあるが、各行政窓口間の連携や、地域団体とのネットワークを活かして、より多くの方に調査を行い、意見を反映していただきたいと思う。
- 委員 近年、発達障がいについての理解が深まり、放課後等デイサービスの利用者がかなり増加している。事業所も多くなり、利用者が環境にあった事業所を利用できるような状況であると思うが、障がいの程度などの制約により、利用者が希望するサービスが受けられないというケースがある。多くの意見を踏まえることは大切だが、少数の意見もくみ取った計画にしてほしいと思う。
- 委員 回収率もそうだが、配布数についても考慮していただき、広く意見を取り入れてもらいたい。また、自由記入欄がないため、追加を希望する。
- 委員長 議事3「その他今後の予定について」事務局から説明願う。
(議事3 その他次回の予定について説明)
- 委員長 次回の予定について、またその他について何か質問はあるか。
- 委員 在宅で一般就労しており通所施設を利用していない人はグループホームへ結びつきづらいという話を聞いたが、市でそのような声や人数は把握できているか。
- 福祉課長 障害者手帳などから日常の施設の利用状況まで把握はできないため、正確な数値は把握できていない。
通所施設とグループホームはあくまで別のサービスなので、単独でグループホームのサービスを受けることは可能だが、急な相談への対応は難しいため、事前に相談をいただきたい。
- 委員長 それでは、これをもって、第1回多治見市障害者計画等策定委員会を終了する。